

支 出 書

会 派 名	誠友会	整理No.	-
科 目 (該当○印)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費		
金 額	114,030 円		
支出年月日	令和 4 年 6 月 17 日		
支出内容	令和 4 年 7 月 11 日～13 日 神奈川県大和市、山形県南陽市及び 東京都千代田区 視察研修に係る出張旅費		
支 出 先	別添領収書の通り		

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	<input type="checkbox"/> 無 領収書を添付することができないため、上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 誠友会

2022年6月17日

(代表者) 稲葉誠一郎 様

¥114,030

但、7月11日~13日大和市・
南陽市・千代田区出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました



	金 額	摘 要
交 通 費	75,130円	
日 当	9,300円	3日
宿 泊 料	29,600円	2泊
()		

(会派名) 誠友会

(名 前) 能宗正洋



研究研修・調査報告書

会 派 名	誠 友 会	報 告 日	令和 4 年 7 月 25 日
代 表 者	稲葉誠一郎 	報 告 者	能宗正洋 
参 加 者	能宗正洋		
実 施 日	令和 4 年 7 月 11 日(月)～13 日(水)		
研究研修・調査等の場所	神奈川県大和市・山形県南陽市・東京都千代田区 デジタル庁		
目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・大和市 文化創造拠点シリウスの指定管理、運営内容について ・南陽市 住民専用タクシー「おきタク」について ・千代田区デジタル庁 行政のデジタル化、DX の可能性等について 		
◇日時	<u>7 月 11 日(月) 13:30～15:30</u>		
◇場所	大和市文化創造拠点シリウス		
	<u>7 月 12 日(火)14:00～16:00</u>		
	南陽市役所		
	<u>7 月 13 日(水)13:00～14:00</u>		
	東京都千代田区デジタル庁		
◇内容、まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>7/11(月) 13:30～15:30</u> ・ <u>大和市文化創造拠点シリウス(星の名前から)について</u> ・ 案内者・説明者 やまとみらい総括責任者 片山敏蔵氏他 2 名 <p>大和市は、人口約 24 万人(議員数 28 名)で、神奈川県のおぼ中央に位置し、東京都町田市とも隣接している。市域は南北に長く面積 27 km²、平坦地の綾瀬市とまたがって厚木基地が所在し滑走路が大和市にある。市域のほとんどが駅まで 15 分の徒歩圏にあり、鉄道 3 路線・8 駅全ての駅からコミュニティバスも運行。市内には 3 つの図書館があり、「図書館城下町」を発信している。</p> <p>大和市には、7 つの「学ぶ、出会う、発見する」文化施設がある。それらは、文</p>		

化創造拠点シリウス・つきみ野学習センター・中央林間図書館・市民交流拠点ポラリス・桜丘学習センター・渋谷学習センター・渋谷図書館である。

我々の訪問したシリウスの愛称で知られる文化創造拠点は、平成 28 年 11 月 3 日にオープンし、「図書館」「芸術文化ホール」「生涯学習センター」「屋内子供広場」の 4 つの機能を中心とした文化複合施設となっていて、平日でも日に 9,000 人～10,000 人・年間 3,000 万人訪れて、お子様から年配の方まで幅広い年齢層に親しまれている。

大和駅から歩いて 3 分と近いし、駐車場 55 台+身障者用 3 台と駐輪場はバイク 51 台・自転車 196 台可能となっている。4 つの施設共に、それぞれ個性を生かしつつも互いに融合し、様々なニーズに合わせて活用できる環境づくりを行っている。アンケートによる市民満足度は、90%となっている。

管理運営は、指定管理者 6 社。従業員数は、シリウスのみで 200 人、他の施設で 100 人の計 300 人となっている。シリウスの近場 10 日間の入場者数は、平均日に 9,400 人。土曜日 12,000 人、日曜日 9,000 人。

シリウスの 1F:感性と創造の場:(9 時～22 時) コーヒーのスターバックス、コンビニエンスストアのローソンをはじめ市民交流ラウンジ(100 円/1hr・1,000 席有り)、総合案内、図書館(自動貸出機・図書検索機完備)、放送スタジオ、授乳室、ギャラリー、メインホール、サブホール。2F:市民交流フロア:(9 時～21 時)市民交流ラウンジ、図書館、コインロッカー(全 110 個 100 円/回)、大和市役所大和連絡所(8 時 30 分～17 時)、大和市イベント観光協会(9 時～17 時)。3F:思い切り遊んで学ぶ:大和こどもの国(9 時～19 時)と、スタジオ(~21 時.30 分)、げんきっこ広場、ちびっこ広場、保育室、おはなしのへや、こども図書館、こども読書室、まんがコーナー、こどもシアターブース等子供に特化した階となっている。他に大・中・小のスタジオがあり、いずれも安価で借りれる。中スタジオで 300 円/2hr、600 円/2hr となっている。4F:くつろぎながら本に親しむ:健康都市図書館(9 時～21 時)シリウス他大和市の図書数は約 47 万冊(max57 万冊)有りますが、全てシリウス内で全図書一括選別管理している。滞在型ゆえ 700 タイトル電子図書(内健康図書は 1000 冊)あり。5F:調べて学ぶ図書館:(9 時～21 時)レファレンスカウンター、情報検索コーナー、地域資料コーナー、点字図書館、対面朗読室、読書室(77 席)6F:仲間と集い学ぶ:生涯学習センター(9 時～21 時 30 分)、滞在型居場所、フレイル予防場所の市民交流スペース、大中小各種会議室、和室、調理実習室、印刷室、大和市役所図書、学び交流館、屋外に大和天満宮

指定管理者 6 社は連携して、毎日館長会議、月に一度は連絡調整会議、また、都度アイデアも出し合っている。5 年間(令和 3 年から 7 年)7 館で、約 213 億円の売上を見込む(内床 147 億円)。ランニングコストは 10.6 億円/5 年間 53 億円見込む。

シリウスの利用料金(参考) 令和 2 年度(コロナ禍) 3,320 万円(内駐車料金 1,133 万円)

休館日 芸術文化ホール・生涯学習センター・・・12/29～1/3
図書館・屋内こども広場・・・12/31～1/1

◇まとめ

運営主体は、指定管理者やまともみらいが担い、(株)図書館物流センター・サントリーパブリシティサービス(株)・(株)小学館集英社プロダクション・(株)明日香・(株)ポーネルド・横浜ビルシステム(株)の 6 社と連携を密にされている。

平日でも一日 10,000 人近い老若男女が訪れる。しかも、午前中は高

年齢者、昼間は子供連れ、学習や学生、夕方サラリーマンと時間帯により異なるが、安価でゆっくり、のんびりくつろげる室内と多量の図書に魅力を感じた。

今後(仮称)子ども未来館や老人大学+市民参画センターの建築に当たって、学ぶ・出会う・発見する場、今回の文化創造拠点シリウスの運営など提言したい。特に「老人大学」は呼び方もなじめない。もっと斬新的な名称に変更すべきであると感じました。

・7/12(火) 14:00~16:00

・南陽市地域公共交通「おきタク」について

・対応者 南陽市議会船山議長(歓迎挨拶)、安部議会事務局長
嶋貫みらい戦略課長、落合企画調整係主任(説明者)、
前司企画調整係主事

南陽市は、山形県南部、米沢盆地の北部に位置し、北は山地で南に田園地帯が広がり、菊と果樹(ブドウ・さくらんぼ・桃・りんご・ラフランス)を中心に農業、畜産が盛んで、特にワイン生産によるワイナリーが6社有る。最古のワイナリーは開湯920余年の赤湯温泉街にある。

「おきタク」は、令和元年10月1日から本格実施されています。乗用タクシーを活用した地域公共交通で、地区内60才以上の登録者が、平日の8時から17時自宅から病院、買い物等指定乗り場約60ヶ所へ定額片道500円で利用できるものです。

指定乗り場は、医療機関26ヶ所・商業施設10ヶ所・金融機関13ヶ所・公共機関5ヶ所となっている。

運営は、地域住民運行協議会と4社からなるハイヤー業者会と協定している。国・県・市からの補助金と各戸年200円拠出(令和元年から継続中)による対応で、例えば、片道1800円の場合、本人は500円支払い、タクシー業者が1300円を協議会へ請求している。

この地域は22年前からバス運行が空白地域(但し昭和61年(35年前)~平成9年は沖郷市民バスが運行)となっていて、平成18年から平成22年3路線バス導入を検討するも駄目で、デマンド型交通導入の声が上がった。が、公民館、地区長、民生委員でヒアリングするも需要の把握出来ず。また、地域内で十分な議論や合意形成出来なかった。

平成29年に検討会を立ち上げ、福島大学の先生に講演指導を頂き、①暮らしの足②地域・事業者・自治体の三方良し③地域で困っている人を具体的に把握する需要の調査、これらをポイントに60才以上を対象に外出に関するアンケートを実施。2500人の内1961人80%の回収率、困っている人11.2%がわかる。

これにより、平成30年11月から1.5ヶ月実証実験。また、過去2年半約600日間の実績は、4992便:8.3便/回 1250円/便⇒60才以上2553人の内登録者431人、利用者161人・・・利用者37%がわかった。

南陽市の実態(一便当たり)

- ・本人500円(40.3%) 協議会(59.7%)・・・(200円/各戸負担金+補助金)
- ・行政側48.2%対利用者側51.8%が判明した
- ・市の補助金の1/2は国庫支出金内1/2は県と市
- ・令和3年度協議会の決算

- ・収入・支出 214万9000円
- ・収入内訳 市の補助円 175万4000円
地区住民の負担金 39万5000円
- ・令和4年度300万円予算計上
(令和3年度は200万円交付、残金は非常対応時の予備費)
- ・「おきタク」は固定費がかからない
3路線バスの維持費年2300万円→おきタクは走った分だけなので
年190万円・・・その内市の負担は半分位で年200円の地区住民の
負担が合計50万円、それ以外は1回500円の利用料金で賅っている

課題

1. 持続可能な移動手段のための負担への財源確保をどうするか
2. 移動ニーズにフィットした運行をどうするか
3. 不可逆的なサービスの拡充 2. と3.のバランスをどうすべきか
4. タクシー事業者(4社)の人員、車両不足
人員は各社平均年齢70才前後・・・タクシー会社運航継続可能かが問題
5. タクシー会社へ前日までに電話のみでの予約方式をどうするか

◇まとめ

- ・福山市の「お出かけ支援タクシー」「予約型乗り合いタクシー」の運行実態などを冒頭で説明(会長の私が)
- ・持続可能な移動手段、病院・買い物等への足を必要とする思いは一致
- ・南陽市は「乗用タクシー」として国からの補助金も活用している点と、地域住民各戸200円/年の負担金拠出は、本市でも参考にできる。
今後提言したい。
- ・移動手段必要者がアンケートで11%程度だったが、活用実態では約40%で、外出機会が増えフレイル予防にもつながっている。
- ・高齢者が安心して免許証返納ができる。

・7月13日(金) 13:00~14:00

・東京都千代田区紀尾井町 デジタル庁

「行政のデジタル化、DXの可能性等」について

・対応者：デジタル庁副大臣 小林史明代議士

先ず、同期会会長の私から、福山市のDX推進状況などについて説明ど、今回の研修に伺った主旨を説明する。内容は、

福山市は、昨年度(令和3年度)「産業・地域版デジタル化実行計画」を策定デジタル推進課と産業振興課が主に対応している。主な内容としては、企業・地域の課題解決した事例を「びんごデジタルラボ」で発信するとか、企業等のデジタル導入の相談に乗る「びんごICT相談所」を開所。また、今年度(令和4年度)6月からは、官民による「デジタル化推進会議」を発足し、企業の課題掘り起こし等の対応を始めたところです。

加えて、行政のデジタル化にも積極的に取り組んでいて、・住民の利便性向上・手続きの簡素化・自治体の業務効率化を進めています。

そこで私達も DX(デジタルトランスフォーメーション)推進の可能性や行政等への提言、地域や企業の支援の為に勉強に伺いました。

レクチャーの内容

政府が掲げるデジタル社会の目指すビジョンである「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」の実現に向け、住民の利便性向上や、自治体の業務効率化などを目的とした地方行政のデジタル化を推進する各種施策に取り組んでいる。

PC～PP による、全国の事例紹介を基に、福山での導入等へのアドバイスを含めてレクチャー頂きました。

それらの主な内容は、

- ・ ネットショップの開設、ネット予約システム
例としてクラウド会計ソフト・・・経理の効率化
- ・ 福山市リム 1F、企業誘致のための「びんごデジタルラボ」勉強会
- ・ デジタル田園都市国家構想推進交付金の活用と具体の紹介
MAX 1 億円・・・リム 1F のイチ・セトウチは 1000 万円活用している
書かない窓口・・・北海道北見市・・・紙なし、行政職員が入力
行かない・待たない・・・全国 70 自治体が業務効率化
マイナンバーカード化の促進を
公共施設 DX・・・オンライン予約、公民館・小中学校の体育館遠隔操作
オンライン診療・・・医師会・私立病院
オンライン授業・デジタル教材・・・教育に活用
子ども家庭庁・・・日本版 DBS・・・広島県他 7ヶ所
貧困家庭データ把握で対応(箕面市)
オンラインによる不登校サポート・・・カタリバ(語り場)
子ども達の居場所づくり・・・b-lab(ビーラブ)とか、
福山市スタイリィ・・・高校生のための自習スペース
沖電気 2F(福山駅北)・啓文社 3ヶ所・リム 2F
観光アプリの活用と学びの体験・・・例:藍染・デニム工場見学・鞆鉄工所
(株)三暁の鍛造体験→自分の鍋を創る・和菓子作り体験等などものづくり
瀬戸内のハブ福山の各地域での体験価値アップ
長崎くんち用棧敷席→新市天王さんのけんか神輿用有料観覧席や近い将来芦
田川河川敷の花火大会

◇まとめ

- ① デジタルは手段であり、何を便利にしたいか、福山のものづくりを観光につなげるにはどうすべきか
- ② 地域戦略に如何に結び付けるか
- ③ 学校再編などによる小学校等の跡地活用をどうすべきか
等々に結び付けられるように、今回のレクチャーにより得られた知識、情報を提言進言につなげたい。

以上

支 出 書

会 派 名	誠友会	整理No. 1-2
科 目 (該当○印)	① 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	18,466 円	
支出年月日	令和 4 年 8 月 17 日	
支出内容	8 月 23 日 広島市中区 広島県「安心・安全・挑戦広島ビジョン」の視察旅費	
支 出 先	別添の通り	

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="radio"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	無 領収書を添付することができないため、上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

領収書添付用紙

支出書整理No. | -2

(領収書添付欄) ※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。
※枠内に収まらない場合は領収書を縮小して添付するか、又は、A4版の領収書等については、
そのまま添付してください。その場合は 支出書整理No.を右側に記入してください

領 収 書

(会派名) 誠友会
(代表者) 稲葉誠一郎 様

2022年8月17日

¥ 1 5 5 0

但, 8/23日広島市中区への出
旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交通費	円	広島市
日 当	1,550円	0.5 日
宿泊料	円	0 泊
()		

(会派名) 誠友会

(名 前) 岡崎 正淳



領収書添付用紙

支出書整理No. 1-2

(領収書添付欄) ※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。
※枠内に収まらない場合は領収書を縮小して添付するか、又は、A4版の領収書等については、
その半を添付してください。その場合は 支出書整理No.を右側に記入してください。

領 収 書

(会派名) 誠友会
(代表者) 稲葉誠一郎 様

2022年8月17日

¥ 1 5 5 0

但, 8/23日広島市中区への出
旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	円	広島市
日 当	1,550円	0.5 日
宿 泊 料	円	0 泊
()		

(会派名) 誠友会

(名 前) 能宗 正洋



領収書添付用紙

支出書整理No. 1-2

(領収書添付欄) ※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。
 ※枠内に収まらない場合は領収書を縮小して添付するか、又は、A4版の領収書等については、その中を添付してください。その場合は、支出書整理No.を右側に記入してください。

領 収 書

(会派名) 誠友会
 (代表者) 稲葉誠一郎 様

2022年8月17日

¥ 1 5 5 0

但, 8/23日広島市中区への出
 旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交通費	円	広島市
日 当	1,550円	0.5 日
宿泊料	円	0 泊
()		

(会派名) 誠友会

(名 前) 小島 崇弘



領収書添付用紙

支出書整理No. 1-2

(領収書添付欄) ※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。
 ※枠内に収まらない場合は領収書を縮小して添付するか、又は、A4版の領収書等については、
 そのまま添付してください。その場合は、支出書整理No.を右側に記入してください。

領 収 書

(会派名) 誠友会

2022年8月17日

(代表者) 稲葉誠一郎 様

¥ 1 3 8 1 6

但、8/23日広島市中区への出
 旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました



	金 額	摘 要
交通費	12,266円	広島市
日 当	1,550円	0.5 日
宿泊料	円 0	泊
()		

(会派名) 誠友会

(名 前) 田口 裕司



研究研修・調査報告書

会 派 名	誠 友 会	報 告 日	令和4年8月30日
代 表 者	稲葉 誠一郎 	報 告 者	小 畠 崇弘 
参 加 者	岡崎正淳, 能宗正洋, 田口裕司, 小畠崇弘		
実 施 日	令和4年8月23日		
研究研修・調査等の場所	広島市中区 広島県庁		
目 的	広島県「安心・安全・挑戦広島ビジョン」について		
<p>◇日 時： 8月23日(火) 16:00~17:30</p> <p>◇場 所： 広島県庁</p> <p>◇対応者： 広島県経営戦略審議官 佐伯安史 氏</p> <p>◇内 容：</p> <p>令和4年度の広島県の施策及び事業の概要について説明を受け、審議官と意見交換をおこなった。</p> <p>広島県の令和4年度の主な施策及び事業については、1. 新型コロナウイルス感染症への対応、2. アフターコロナを見据えた社会・経済の発展的回復、3. 新型コロナなどにより顕在化した構造的な課題への対応、4. それぞれの欲張りなライフスタイルの実現の4項目となっている。</p> <p>1. 新型コロナウイルス感染症のポイントとして、医療提供体制の確保として、感染者の急増も見据えた、症状に応じた適切な療養体制を確保している。</p> <p>2. アフターコロナを見据えた社会・経済の発展的回復のポイントとして、コロナ禍で傷んだ地域社会・県民生活に対し、県民生活の回復、困窮している方への継続的な支援のため、社会の修復と発展に向けた取組をおこなうこと、</p>			

また業者等の厳しい経営状況に対し、社会・経済情勢の変化への対応、イノベーション等を通じた新たなビジネスモデルの創出により経済の発展的回復の実現を目指す。

3. 新型コロナなどにより顕在化した構造的な課題への対応のポイントとしては、①東京一極集中に対し、ニーズの高まりに基づく「適切な分散」と「適切な集中」に応じた地域づくりにより、適散・適集社会の実現、②激甚化・頻発化する災害へのリスクに対し、ハード・ソフト両面からの県土の強靱化により、激甚化・頻発化する気象災害等への対応、③社会・経済活動におけるデジタル技術の活用が不十分なことに対し、県民生活の利便性を向上させ、生産性を高める、デジタル技術の積極的な活用により、デジタル化への対応する。
4. それぞれの欲張りなライフスタイルの実現のポイントとして、ネット・ゼロカーボン社会の実現のため、地球温暖化対策の推進をおこなうこと、またイノベーション創出拠点ひろしまの形成のため、スタートアップ企業の成長をサポートすること、そして核兵器廃絶に向けたひろしまの使命のため、核抑止に替わる新たな安全保障政策づくりをおこなうこと、広島を強みを生かした新成長産業の育成のため、環境・エネルギー分野における新ビジネスの創出をおこなうことがある。施策を貫く3つの視点として、デジタル技術の活用により、県民が暮らしや仕事の中での利便性の向上を実感している社会を実現していくこと、ひろしまブランドを高めることにより、選ばれ続けている未来の広島県を創造していくこと、社会の変化に対応し、新たな付加価値を創造できる将来の広島県を支える「人『財』」を育てることとしている。

審議官との意見交換においては、福山市を魅力的な街にするため、2025世界バラ会議において、大阪の万博と連携して誘客をおこなうことの有効性や、こども未来館構想を踏まえ、科学館があることで乳幼児教育での有効活用についてアドバイスを頂いた。また、福山ブランド強化という観点では、福山市がかつて空襲を受けて復興した歴史を持っており、広島県の平和行政との緊密な連携によるピースブランドが有効とのヒントも頂いた。本市がより魅力な街になるよう、しっかりと取り組んでいきたい。

以上

支 出 書

会 派 名	誠友会	整理No.	1-3
科 目 (該当○印)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費		
金 額	250,860 円		
支出年月日	令和5年2月8日		
支出内容	令和5年2月13日～14日 愛媛県四国中央市・大洲市 視察研修に係る出張旅費		
支 出 先	別添の通り		

領 収 書	<input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
(該当○印)	無 領収書を添付することができないため、上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 誠友会

2023年2月8日

(代表者) 稲葉誠一郎 様

¥41,810

但、2月13日～14日愛媛県四
国中央市、大洲市への出張
旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	20,810円	
日 当	6,200円	2.0日
宿 泊 料	14,800円	1泊
()	円	

(会派名) 誠友会

(名 前) 稲葉誠一郎



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 誠友会

2023年2月8日

(代表者) 稲葉誠一郎 様

¥41,810

但、2月13日～14日愛媛県四
国中央市、大洲市への出張
旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	20,810円	
日 当	6,200円	2.0日
宿 泊 料	14,800円	1泊
()	円	

(会派名) 誠友会

(名 前) 岡崎正淳



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 誠友会
(代表者) 稲葉誠一郎 様

2023年2月8日

¥41,810

但、2月13日～14日愛媛県四
国中央市、大洲市への出張
旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	20,810円	
日 当	6,200円	2.0日
宿 泊 料	14,800円	1泊
()	円	

(会派名) 誠友会

(名 前) 能宗正洋



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 誠友会

2023年2月8日

(代表者) 稲葉誠一郎 様

¥41,810

但、2月13日～14日愛媛県四
国中央市、大洲市への出張
旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	20,810円	
日 当	6,200円	2.0日
宿 泊 料	14,800円	1泊
()	円	

(会派名) 誠友会

(名 前) 小島崇弘



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 誠友会
(代表者) 稲葉誠一郎 様

2023年2月8日

¥41,810

但、2月13日～14日愛媛県四
国中央市、大洲市への出張
旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	20,810円	
日 当	6,200円	2.0日
宿 泊 料	14,800円	1泊
()	円	

(会派名) 誠友会

(名 前) 田口裕司



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 誠友会
(代表者) 稲葉誠一郎 様

2023年2月8日

¥41,810

但、2月13日～14日愛媛県四
国中央市、大洲市への出張
旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	20,810円	
日 当	6,200円	2.0日
宿 泊 料	14,800円	1泊
()	円	

(会派名) 誠友会

(名 前) 荒玉賢佑



研究研修・調査報告書

会 派 名	誠 友 会	報 告 日	令和 5 年 2 月 27 日
代 表 者	稲葉 誠一郎 (印)	報 告 者	小島 崇弘 (印)
参 加 者	稲葉誠一郎, 岡崎正淳, 能宗正洋, 小島崇弘 田口裕司, 荒玉賢佑		
実 施 日	令和 5 年 2 月 13 日 ~ 2 月 14 日		
研究研修・調査等の場所	愛媛県 四国中央市 市役所, 予約センターオペレーター室 大洲市 市役所, 大洲城		
目 的	四国中央市 デマンドタクシーの取組みについて 大洲市 キャッスルステイの取組みについて		
研究研修・調査等の概要 2月13日(月) 13:30 ~ 15:00 四国中央市 デマンドタクシーの取組みについて 対応者：四国中央市役所 岸井宏次観光交通課長 鈴木武雄交通政策係長, 高橋和真交通政策係長 四国中央市は、愛媛県の東端部に位置し、東は香川県に面し、南東は徳島県、さらに南は四国山地を境に高知県と、四国 4 県に接する四国の中心といえる地域である。 当市の前進である川之江市、伊予三島市、土居町、新宮村は、昭和 29 年に宇摩郡の各町村が合併して誕生し、高度経済成長に伴ってそれぞれ地域の特性を活かして発展してきた。その後、平成 16 年に合併し四国中央市となり、現在に至っている。人口は 83,284 人 (令和 5 年 1 月 31 日現在)			

となっている。

当市では、市町村合併に際し、高齢者や山間地域の方から要望が上がり、新たな公共交通手段としてコミュニティバス導入を検討開始し、検討を重ねた結果、利用者からの予約状況に応じて柔軟に対応できるデマンド交通を導入することが望ましいとの方針が出され、デマンドタクシー導入に至った経緯がある。

現在、運行開始から12年が経過しており、先進地域である。

当市では、川之江エリア、三島エリア、土居エリアの各エリアが、合併前旧市町の生活圏域とほぼ一致している。

運行日は、月曜から金曜まで運行しており、土日祝日、12/29～1/3は運休となっている。

運行便数は、①川之江、三島、土居エリアは、1日7便であり、1時間に1便の時刻表で運行、②三島嶺南エリアは、1日3往復であり、山間部の三島嶺南エリアと三島中心部の乗降場所間を運行、③早朝夜間便は、1日1往復で運行、山間部の新宮エリアとJR伊予三島駅間を運行となっている。

利用料金は、大人（中学生以上）400円、障がい者手帳をお持ちの方・小人（小学生以下）200円、未就学児無料（保護者1人につき1人無料）となっている。エリア間を乗り継ぐ場合は、乗車ごとに利用料金が必要となる。

当市のデマンドタクシーは、市内公共交通の補完交通の役割を果たしている。各エリア内での通院や買い物に要する移動は1時間内で完結している。

当市の特色的な取り組みでは、①行動範囲を自由に選定できる、②運転免許自主返納の促進、③まちづくり出前講座の実施などがある。

①については、運行エリア内であれば、通院や買い物の他、友人宅、お墓参り等、乗降場所を自由に選定することができるということで、市民の多様なニーズに対応したものである。

②については、高齢者による交通事故の減少を図ることを目的に、運転免許の自主返納を促進するため愛媛県警察本部が実施している65歳以上の高齢者運転免許自主返納支援事業と連携して、デマンドタクシーを無料で利用することができる「お試しチケット」5回分を、運転免許返納時に無料で贈呈するなどの取組である。

③については、市民が主催する催しに市の職員が出向き、デマンドタクシーの周知や利用啓発を行っている。

住民が利用する際の予約方法については、予約受付場所は予約センター（受付時間：平日、月～金8：30～16：30）、予約受付開始は利用予定日の1週間前から、予約受付終了は利用予定時刻の30分前までとなっている。

予約センター業務（予約受付・配車）は、宇摩旅客自動車協働組合と連携し、常時、オペレーターの方が4人いて、電話による予約受付・配車手配をおこなっている。

当市での取組の結果として、総人口8万3千人の内、年間延べにして2万人（人口の約25%）がデマンドタクシーを利用しており、高齢者だけでなく若い人の利用もある。今後は、WEB予約などの利用予約の利便性向上、待合環境の整備などの乗り継ぎ時の利便性向上、EV車両導入の検討などイメージアップが課題となっている。

質疑応答では、利用料金の妥当な金額について、どうやって市民に乗ってもらえるか、路線バスの維持にどのように取り組んでいるか等活発な議論がおこなわれた。

当市では、旧市町村毎のエリアの棲み分けが上手くいっているが、大きい病院が川之江エリアに集中するなどエリアを越える移動も今後予想されることから、エリア間を移動する際の待合環境の整備などの乗り継ぎ時の利便性向上が課題となっているが、本市においても共通の課題があると考えられる。

都市部においては、1時間毎の運行があり利便性が高いが、山間部においては本市と同様、前日予約、便数も限りがあり、利便性にも課題がある。

今回の視察を活かして、本市の公共交通の補完となるデマンドタクシーがより利便性の高いものになるよう取り組んでいきたい。

2月14日(火) 10:00 ~ 12:00

大洲市 キャッスルステイの取組みについて

対応者：大洲市役所 森野啓二事務局長・米澤事務局主査
筑紫観光まちづくり課長・久保田課長補佐
宇高・西岡氏

大洲市役所にて大洲市議会榊田和美議長のご挨拶の後、担当課よりキャッスルステイの概要について「文化財観光施設を活用した歴史体験実施計画」の資料に基づき、説明を受けた。質疑の後、大洲城に移動し、現地を視察しながら担当者と質疑、意見交換を行った。

大洲城キャッスルステイの概要

人口減少期においても持続的に大洲城を始めとした歴史的資源を保全、整備するため、歴史に基づいた特別な体験を提供し、対価を得つつ、文化財の活用により市の認知度の向上を図ることを目的に行われる事業で、大洲城のみならず元藩主庭園で、後の河内寅次郎別荘である臥龍山荘や城下に居並ぶ古民家の活用など幅広い視点で行われる。

大洲城は一般公開されており、城内には歴史年表や甲冑などの資料がいくつか展示されているほかは木造で当時の姿を再現されている。宿泊、飲食も閉館後の城内で行われるため、名実ともに揃った城泊であることを強みとしている。

おもてなしの流れとしては、歴史考証を踏まえた上で上質で格の高い非日常体験を提供することをコンセプトとし、1617年の加藤貞泰の入城を再現する。臥龍山荘での茶会や瞑想など体験コンテンツを取り入れ、城以外の文化財活用へつなげている。

事業の位置づけは、大洲市が所有する文化財観光施設を活用した官民連携事業であり、指定管理者による自主事業として位置づけられている。本事業の企画やコンテンツ開発を行う地域DMOと実際のオペレーションを行う運営事業者が参画している。

収支については、約1割が行政の文化財観光施設の管理費、公園管理費に充てられ、地域に還元される経済効果については支払われる料金のうち82%となる。

料金は一組二人で100万円、三人で110万円と一人増えるごとに10万円ずつ上乘せされるが、一人当たりの単価は人数が増えるにしたがって抑えられる。得られる金額が大きくなるにしたがって一人当たりの負担額が減るので、利用者にとっても行政にとってもメリットとなる。

料金の設定についても一人当たりの単価を示すことによってお手頃なイメージがつけられるので、本市においても検討をすべきだと考える。

年間利用者数は30組を目標としており、予約や問い合わせの件数から目標達成は堅いとみているようである。城泊のトップランナーということもあり注目を浴びていることも考えるが、以前から行われている市外からも城を中心としたまちづくりに関心を集めてきたことが、功を奏した結果ではないかと考える。

また、利用者の満足度を上げる工夫はコンテンツ開発だけではなく、入浴やトイレなどの衛生面からも行われており、入浴施設は同敷地内のカフェレストに隣接されている。広々とした浴室で、ラウンジ空間もあり、好評であるという。また、トイレについても城の勝手口にトイレカーを横付けし、快適に過ごせるように配慮されている。

さらに、事業を行う上で障壁となるのが安全対策で、建築基準法、旅館業法、消防法について約二年をかけ関係機関と協議のうえで法令をクリアしている。実証実験の課題を踏まえ、本市でも早期に関係機関との協議を本格化すべきだと考える。

今後の課題として、外国人に向けて多言語対応をすることの必要性を挙げているが、案内板など、物理的な多言語化は城の雰囲気などにそぐわず、かえって外国人からの評価が下がるおそれもある。スマートフォンやタブレットなどのデバイスを使用する方式で研究すべきと考える。

広報については、大洲市に縁のある歌手の伍代夏子さんを起用し、式典にも参加されている。本市においては名誉城代に就任されたタレントの田村淳さんの活躍に期待が集まっている。全国的な知名度、人気があるタレントとのご縁であるので密に連携をとり、本市の知名度向上に役立てるべきと考える。

まとめ

大洲城のキャスルステイは、木造での再建という大きな事業のあとというインパクトも大きく、城内で宿泊できるという特別な体験は唯一無二だと胸を張っておられた。福山城の城泊についても、おもてなしの豪華さによるインパクトは生まれるかもしれないが、他の城泊とどこが違うのか、唯一無二の体験コンテンツを提供できるかが課題になりそうだ。

また、事業の運営をするにあたり、どのような団体とどのような役割分担をするのかという具体的な方策について考えることも大事だが、目的を明確にしていくことがより肝要であると考え。持続可能な文化財保護を実現するために必要最小限の収支にとどめるのか、文化財保護を行いながら福山市の魅力国内外に発信するための起爆剤とするのか、いずれにしても満足度の高いコンテンツと心地よい空間の提供が必要不可欠であり、入浴施設やトイレなど衛生面については本市において検討すべき課題である。

以上

支 出 書

会 派 名	誠友会	整理No.	1-4
科 目 (該当○印)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費		
金 額	3,300 円		
支出年月日	令和 5 年 2 月 14 日		
支出内容	令和 5 年 2 月 14 日 愛媛県四国中央市・大洲市 大洲城観覧料		
支 出 先	別添の通り		

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	無 領収書を添付することができないため、上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

別紙

領収書添付用紙

支出書整理No.

1-4

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領収証番号:2302140100013

発行日付:2023年02月14日 11:14

領 収 証

誠友会

¥3,300

但し 観覧料

2023年02月14日 上記正に領収致しました。



大洲城 TEL:0893-24-1146
愛媛県大洲市大洲903

8%対象商品	¥0
8%消費税	¥0
10%対象商品	¥3,300
10%消費税	¥300
非課税対象商品 (内消費税	¥0 300)



[入力担当者]
oozujyo

